ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		字校名 青森県立青森右葉養護 字校
授業について	教科領域名 (✔又は■で 記入する。) 単元(題材)名 単元(題材)の目標	□国語 □社会 □算数・数学 □理科 □外国語・外国語活動 □生活 □音楽 □図画工作・美術 □体育・保健体育 □技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 □特別の教科 道徳 ■総合的な学習 (探究) の時間 □日常生活の指導 □生活単元学習 □作業学習 □遊びの指導 □特別活動 □自立活動 □ その他 () 総合的な探究の時間 最終報告会 ・個々で調べた内容を自分なりに工夫しながらまとめ、発表することができる。・他の生徒の発表にも関心を向け、広く SDGs について興味関心を深めようとすることができる。
27.4	学部・学年・人数	高等 部 1~3 年 16 人
学習集団と実態	本単元(題材)にお ける学習集団の 主な実態	※個別学習の場合は、個人の本単元(題材)における主な実態を端的に記入する。 ・携帯型情報端末(iPad)の使用方法がわかる生徒がほとんどで、各々で操作することができる。また、操作に困ったとき周囲に援助を求めることができる。 ・人前で話すことへの抵抗感や、進んで人とやりとりすることへの苦手感などを抱える生徒が多く、コミュニケーション手段の代替として端末機器を使うことができる。
ICT活用について	使用した支援機 器・教材の名称	※使用した ICT 機器(入出力支援装置等)名を記入する。 iPad、大型ディスプレイ、プロジェクター、AppleTV
	使用したアプリケ ーションの名称	※使用したアプリケーション名を記入する。 Keynote、写真、Safari
	主な活用の用途 (✔又は■で 記入する。)	(複数選択可能) □コミュニケーション支援 ■活動支援(■情報入手支援 ■機器操作支援 □時間支援) □学習支援(□教科学習支援 □認知発達支援 □社会生活支援) ・各学年の教室で個々の進捗状況に応じてプレゼン資料を作成する。
	I CT活用の ねらい	・AppleTV を使用して iPad と接続することで、発表のための機器準備の時間を最小限にする。
活用の状況と支援	活用の状況と支援	 ※ICT 活用場面と行った支援について記入する。 ・プレゼン資料の作成、完成した資料の確認、手書きの発表原稿の作成などそれぞれの生徒の進捗状況に応じて、自分で選択して活動することができた。 ・大型ディスプレイとの接続が簡単なため、各教室で学年ごとのリハーサルを行うことができた。 ・調査は、学習内容に関連する書籍やインターネットを活用した。情報処理室に移動することなく教室内で各自インターネットにアクセスすることが可能だったため、活動を中断することなく行うことができた。